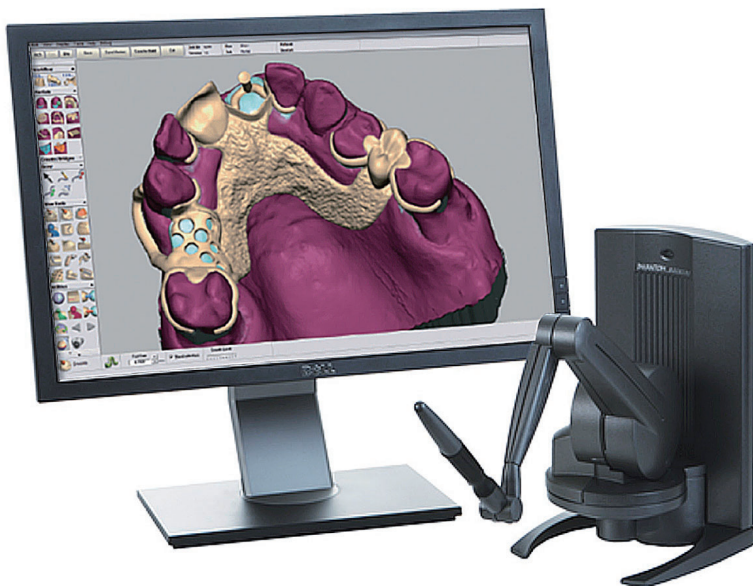


歯科補綴物設計支援 3D モデリングシステム

歯列模型の3Dデータを触りながらワックスアップのような感覚で複雑なデンチャーフレーム、クラウン、ブリッジ、前装冠などの補綴物をモデリング。



Touch X デバイス

ハプティクス デバイス

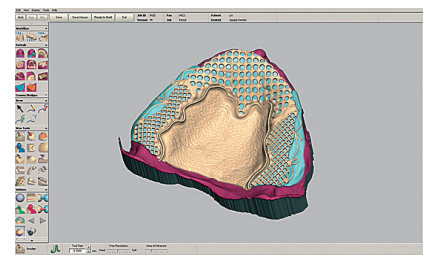
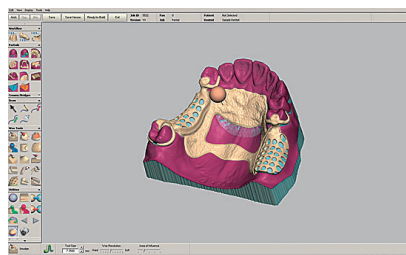
模型やワックスを触っている感覚がデバイスから手に伝わるため手作業と同様に詳細な補綴物の設計が可能
デバイスタイプ：2機種(Touch, Touch X)



Touch デバイス

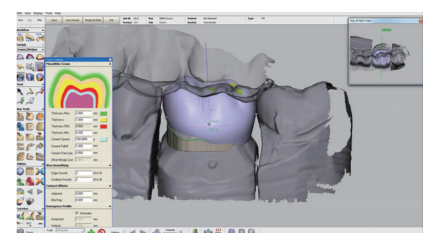
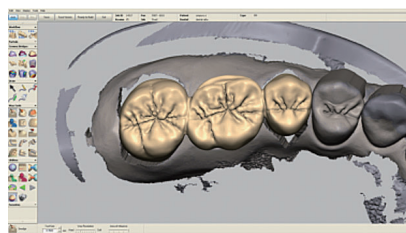
デンチャーフレーム モジュール

- PC上でサベイング作業が可能
- 複雑なデンチャーフレームも簡単にデザイン可能
- キャストクラスプの太さや断面を自由に設定可能
- プレートのスティップルも細部にわたり設計可能
- フィニッシングラインやティッシュストップも簡単にデザイン可能



クラウン・ブリッジ モジュール

- クラウン形態はデータベースより選択でき、また任意に追加可能
- セメントスペースやクラウンの厚みは数値で設定可能
- フルマウスブリッジも設計可能
- コンタクトスペースもデザイン可能



Dental Lab System

歯科補綴物設計支援 3D モデリングシステム

設計データは、スキャン/デザインともに、STL形式で作成する完全オープンシステムです。STL形式で出力したデータを各社のミリングマシン、3Dプリンターで活用することが可能

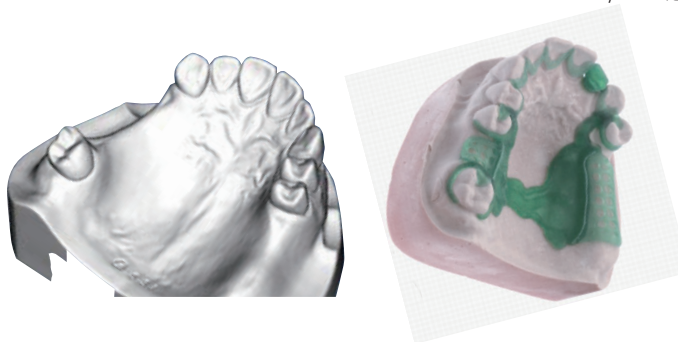
① 形状計測 (スキャナ)

② 設計 (CAD)

③ 加工 (CAM)

① スキャンデータから 3D モデルを生成

スキャンした支台歯や隣在歯、対合歯の状態を画面上に再現



③ STL データを 3D プリンタ出力

Dental lab system でデザインしたデータを 3D プリンタでキャスト用レジンパターンで出力可能です。またミリングでも出力が可能なので CAD/CAM 冠 (ハイブリッドレジン冠) も作製可能です。



② Dental Lab System による補綴物の設計

モデリング作業は、ハプティクスデバイスを使用することで、実作業で行なっているワックスアップのように模型やワックスを触っている感覚がハプティクスデバイスから伝わるので、手作業と同様に詳細な補綴物を設計することが可能です。

ハプティクスデバイスによる金属床義歯の構造設計



3D Systems 社製 ハプティクス デバイス

入力 (位置・姿勢) : 6 自由度

出力 (フォースフィードバック) : 3 自由度

瞬間最大提示力 : 3.3 N

瞬間最大提示力 : 7.9 N

Touch

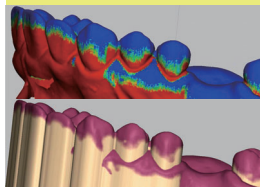
Touch X



デンチャーフレームのデザインワーク例

1

画面上でサベイングを行いデンチャーフレームの着脱方向を設定、同時にブロックアウトを行ないます。



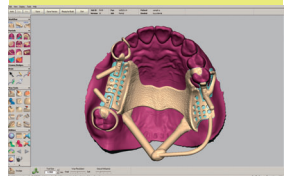
2

ブロックアウトされた模型データにクラスプ・プレート・メッシュを設計し、デジタルワックスアップを行ないます。



3

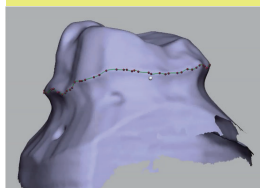
デジタルワックスアップ完了後、オープン形式データ (STL) に変換し 3D プリンタへデータを転送します。



クラウン・ブリッジのデザインワーク例

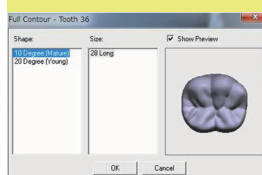
1

マージンラインをワンクリックで引くことが可能です。



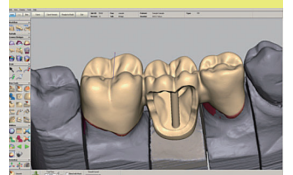
2

クラウンは錐形から適切な形状のものを呼び出し簡単に配置することが可能です。



3

ポンティックの窓開けやリテンションピースなどのデータを簡単に作製可能です。



販売代理店

株式会社スリーディー

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-3-8 KDX 新横浜ビル 4F

TEL.050-5533-3380

<https://www.ddd.co.jp/>